

# 北の森林 国有林



北海道森林管理局

## 迎春



樹氷の森・阿寒湖畔



国民の森林・国有林

地球を守る木 みんなの財産国有林

## 年頭所感

# 「日本林業再生の正念場」

北海道森林管理局長 山田 壽夫

輝かしい新春を迎え、皆様方のご健康とご繁栄を心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は建築基準法の改正に伴い、下半期において新築住宅着工数が激変したため、林業・木材産業界においては木材需要の減少などにより大きな影響を受けました。一方、地球温暖化の要因である温室効果ガスの具体的な削減数値目標やその達成方法を



定めた京都議定書の第一約束期間が迫る中、森林吸収源対策の推進が図られ、間伐等の追加的な森林整備が進められるなど、森林・林業を巡るさまざまな動きがありました。

このような状況の中で、北海道森林管理局におきましては、優れた自然環境を有する天然林の適正な維持管理を推進するため、外部の専門家からなる「生物多様性検討委員会」を設置し、幅広いご意見をいただきつつ生物多様性に資するプロジェクトを実施するなど、多様で健全な森林づくりを進めるとともに、森林環境教育、国民参加の森林づくりやレクリエーションの森リフレッシュ対策を推進し地域に密着したサービスを提供しつつ、国民の皆様から信頼される国有林となるよう努め

ております。

また、網走西部流域の約十萬九千の国有林において、森林認証を取得すべく手続きを進めております。一般民有林・道有林とあわせてこの流域で日本最大の森林認証エリアの形成をめざしており、地域産材のブランド力を高めた地域経済の活性化や消費者が森を選択できる仕組みづくりのための先駆的取組を実践することとしております。

さらに、北海道林業の再生



に向けて、民有林と連携した取組を進めるとともに、低コスト作業

システムの検討、素材のシステム販売の積極的推進等により素材生産から加工流通までの各段階でのコスト削減を図るなど、道産材の国際競争力を確保するための取組を進めています。昨年後半からの急激な市況変化を受けた我が国林業にとって、今年が林業再生の正念場になったと考えております。

国民の安全・安心のための治山事業など今までの取組も一層の強化を図り、引き続き全力で取り組んで参る所存でございますので、国有林野事業に対するご理解とご支援をお願いいたします。



最後になりますが、本年七月には地球環境問題を大きなテーマとするG8サミットが洞爺湖地域を舞台に開催されます。ポスト京都議定書の枠組づくりが主要議題になると思われますが、サミットの成果が子供達の未来の糧となります。また、職場においては労働災害が無く、職員全員が健康で過ごされますことを念願するとともに、皆様方にとりまして良き年となりますよう心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

# 地域ニーズに応えた森林づくりを

北海道森林管理局 国有林野等所在市町村長有志連絡協議会



北海道森林管理局では、地域の声を反映し、地域に密着した国有林野事業を推進するため、各地区毎に協議会を開催し、市町村長からご意見を頂いてきたところです。

この度、各地

区の協議

会が終了

したこと

を受け、

平成十九

年十二月

五日(水)

全道から

二十四名

の市町村

長をはじめ

め、林野庁から須藤管理課長及び森川保安林調整官、来賓として北海道庁から荒川森林環境局長の出席を頂き、北海道森林管理局国有林野等所在市町村長有志連絡協議会を開催しました。

開催にあたり、山田局長をはじめ、須藤管理課長、荒川森林環境局長、当連絡協議会の代表世話人である金澤陸別町長からあいさつを頂きました。

次に、中道平取町長(札幌)、安斎下川町長(旭川)、堀佐呂間町長(北見)、棚野白糠町長(帯広)、谷口黒松内町長(函館)より各地区協議会で出された意見等の概要について報告を頂き、それに対する北海道森林管理局の考え方を富澤企画調整部長から一括



説明しました。

その後、意見交換に入り、「森林整備が進められているが、針葉樹だけではなく広葉樹も植樹する必要があるのではないかと、針葉樹人工林の除間伐を行うことで、動物や広葉樹が入り込める環境ができることから、除間伐をするよう指導すべきではないか」と言った旨の市町村長からの意見に対し、「適地適木を図りながら広葉樹も植樹するなど、北海道にあった植樹を行っている」、「除間伐については、手入れをすることが地球温暖化防止対策となるので民有林においても除間伐を推進して、地球温暖化の防止に貢献してほしい」旨を森林管理局側が応えるなどのやりとりをはじめ、出席した市町村長から忌憚のない提案や要望が出されるなど、活発な意見交換が行われました。



(業務調整課)

保全調整課 中鍵さん 後志署 佐藤さん

## 林野庁長官賞受賞

平成19年度国有林野事業業務研究発表会



ミニコミ活動を全国発信した中鍵さん

十一月二十七日(火)に今年で四十回を迎える平成十九年度国有林野事業業務研究発表会が、東京都千代田区霞が関の農林水産省(林野庁)で開催され、北海道森林管理局からは四課題を発表しました。

その中で森林技術部門で発表した後志森林管理署治

山課の佐藤さんほかの「転石固定工による落石防止対策について」、森林ふれあい部門で発表した保全調整課の中鍵さん(前 留萌北部署)の「森林官のミニコミ活動から始まる地域理解の再構築」が、それぞれ林野庁長官賞を受賞しました。

後志署の受賞は、「現地状況に応じた工夫された工法であり、実用的であること」、中鍵さんの受賞は、「森林事務所発の広報活動とそれによって得られた地域とのつながりの深さ」などが高く評価されたものです。

皆さんの活躍は、今後の研究発表に臨む職員にとっても大変励みになることと思えます。

(指導普及課)



辻林野庁長官から表彰される佐藤さん

北海道森林管理局  
二〇〇七年のどげんどう



←北の国・森林づくり  
技術交流発表会



↑冬の森林教室



↑GSS活動報告会



←国有林モニター会議

- 一月  
国有林野等所在市町村長有志連絡協議会(局)  
平成18年度北の国・森林づくり技術交流発表会(局)  
グリーンサポータースタッフ事業報告会(局)  
二月  
日高の森林づくりを広める集い(新ひだか町)  
野幌モニターリング検討会(局)  
レクリエーションの森リフレッシュ検討委員会(局)  
三月  
知床世界遺産地域科学委員会(札幌市)  
平成18年度国有林モニター会議(局)  
パイロットフォレスト人事院総裁賞受賞記念行事(帯広)  
第一回生物多様性検討委員会(局)



←第58回全国植樹祭

↓巨木のクローン苗木里帰り



←第21回森林の市



↑国民の森林づくり  
感謝状



↑森林ふれあい推進事業



←生物多様性検討委員会

- 四月  
北海道国有林の取組事項記者発表「緑の募金」街頭募金(札幌市)  
国民の森林づくり感謝状贈呈式(局)  
五月  
支笏湖周辺台風災害復興の森林づくり(千歳市)  
モーラップ全国植樹祭47年目の記念植樹(苫小牧市)  
野幌国有林市民参加の森林づくり(江別市)  
「錦水の松」子孫の植樹祭(夕張市)  
オホーツク木のフェスティバル(北見市)  
生物多様性検討委員会(局)  
六月  
第21回森林の市(札幌市)  
支笏湖の森再生植樹祭(苫小牧市)  
レフンアツモリソウ保護増殖者連絡会議(礼文町)  
NPOアオダモ資源育成の会植樹(新冠町)  
第58回全国植樹祭(苫小牧市)  
第1回森林ふれあい推進事業(共和町ほか)

→各地で下刈り作業



←GSS各地で活躍中



↑タケノコ園開園

森林生態系会議↓



←知床永久の森林づくり協議会

七月  
北海道森林スポーツフェスタ二〇〇七  
定山溪（札幌市）  
知床永久の森林づくり協議会（清里町）  
NPOアオダモ資源育成の会植樹祭（苫小牧市）  
カルチャーナイト二〇〇七パネル展（局）  
レクリエーションin知床（羅臼町）  
八月  
公開講座「カラムツ木炭の取組と炭の効能」(局)  
公開講座「触れてみよう森林のパワーを感じる炭づくり体験」(札幌市)  
もったいないキッズ植樹祭(札幌市)  
国連大学グローバルセミナー（千歳市ほか）  
森林生態系会議（局）  
九月  
第2回森林ふれあい推進事業（上川町）  
札幌水源の森づくり二〇〇七（札幌市）  
公開講座 田野崎文さん「聴く！森にまくコトバの種」(局)



↑知床自然遺産 河川工作物WG

→森林のつどい育樹祭



↑秋の植樹祭



↑美しい森林づくり 森林公開講座



↑低コスト作業システム 現地検討会



←国有林モニター 現地視察ツアー

美しい森づくり「森林のつどい二〇〇七育樹祭」(七飯町)  
知床科学委員会河川工作物ワーキング（羅臼町・斜里町）  
十月  
台風森林被害地再生の森づくり植樹祭（七飯町）  
報道関係記者現地見学会（深川市ほか）  
公開講座「森の恵を食べる」(札幌市)  
道民森づくりネットワークのつどい二〇〇七（札幌市）  
平成19年度国有林モニター現地視察ツアー（江別市ほか）  
「JICA」共生による森林保全研修」受入（本別町ほか）  
十一月  
レクリエーションの森リフレッシュ現地検討会（鹿追町）  
エソシカ被害対策検討プロジェクトチーム検討会（局）  
平成19年度低コスト作業システム現地検討会  
十二月  
国有林野等所在市町村長有志連絡協議会（局）  
第5回生物多様性検討委員会（局）



# みんなで植えた木 大きく育て

## 統合記念にドングリ植えたよ



【釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター】春採湖の畔に建つ釧路市立柏木小学校とは、子どもたちとの森林教室、教職員の学習会などを通じた交流をしてきましたが、平成20年4月に隣の小学校に統合されることになりました。

このため平成14年からみんなで種を播いて育ててきたミズナラを春採湖遊歩道に記念植樹することとなり、当センターもお手伝いに参加しました。

まず、11月5日（月）に植樹の前段として、4年生のみなさんとミズナラの木について、種の標本などを使いながら勉強し、11月7日（水）に全校児童、父兄らが参加し植樹会を行い、これまで大切に育ててきたミズナラをていねいに植え付けました。



## 台風被害地に森を再び

【石狩署】NPO法人森林遊びサポートセンターのみなさん27名が、11月6日（火）に千歳市の道道支笏湖公園線の千歳第4発電所入口周辺の国有林で、森林再生事業の一環として、カミネッコンを使った植樹活動を行い、石狩森林管理署からも5名がお手伝いに参加しました。

当日は、平成16年の台風18号の被害を受けた支笏湖公園線沿いの風倒木を処理した伐根などのまわりに、ミズナラ、アオダモ、カツラの苗木が入った130個のカミネッコンを植え付けました。

作業後には、環境にやさしい治山施工地（魚道設置の堰堤、間伐材を使用した山腹工）の見学、漁岳周辺森林生態系保護地域であるオコタンベ湖や恵庭渓谷の散策などを行い、小春日和の1日を楽しみました。



## 流域管理推進アクションプログラム

### 国有林の活用ニーズを探る



【後志署】シーニックパイウェイ北海道のひとつに選定されている「支笏洞爺ニセコルート」で、11月7日（水）に関係団体等による現地視察会があり、当署はオブザーバーとして参加し、意見交換を行いました。

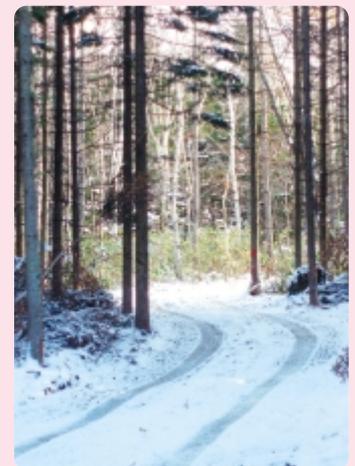
後志胆振流域の流域管理推進アクションプログラムではこのほかにも、様々な協議会等に参加しており、今後も国有林の活用ニーズなどについて、情報収集に取り組んでいきます。

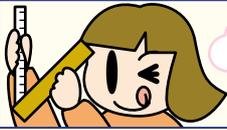
### 積丹町と連携 森林路網づくり

【石狩署】民有林と国有林が連携した森林路網整備を進めるため、11月21日（水）に、積丹町との打合せ会議を行いました。

これは同町が国有林に隣接する町有林の作業道開設にあたり、当署へアプローチがあり、国有林としても路網の未整備区間で、沿線に間伐対象林分が多くあることから、効率的な整備に向けて協力していくこととしたもので、11月下旬には、ほぼ今年度の路網整備が終了しました。

会議では、路網の相互活用・現地検討・情報共有などについて意見を交わし、連携の基本認識を熟成し、継続して行くことを確認しました。





## ワイワイ 楽しい森林教室

### 森のこと実験して勉強したよ



#### 【根釧東部署】

11月2日（金）、中標津町立東小学校の4・5年生のみなさんと森林教室を開催しました。

4年生のみなさんとは、「森林の土のひみつ」をテーマに、森林の重要な役割である「水源かん養」とそれを支える「森林土壌の仕組み」について野外での実験などを通して学習しました。



5年生のみなさんとは、「森林育成と林業」をテーマに、地元の森林計画図を見ながら、格子状防風林の配置、防風保安林の維持造成についての学習や、測高器や輪尺を使った測樹の屋外実習を行いました。

どちらも、子どもたちから質問や感想がたくさん出され、森林への深い興味と関心が感じられる教室となり、今後も地域での森林環境教育の推進のために積極的な取り組みを続けていきたいと考えています。



### クリスマスのリースを作ったよ

【網走西部署】クリスマスシーズンを控えた11月下旬、恒例の「リース作り」教室が遠軽町と湧別町の小学校で開かれ、山で集めた自然の材料を携えて「まちの森林博士」と森林管理署職員が先生役を務めました。

これは、葛ツル、松ボックリ、ヒバや木々の切り抜きなどの自然の材料を使った工作を通じ、子どもたちに木や森林への関心をもってもらうこと、作ることの楽しさを味わってもらうことなどを目的に行っているものです。

24日（土）に遠軽町立遠軽小学校を会場に開かれた教室は、同町教育委員会と小中学校の学社融合事業の一環で行われ、70人が参加しました。

また、29日（木）には、湧別町立<sup>ばろう</sup>芭露小学校で授業の一環として行われました。

両日とも、子どもたちはリースやミニツリーを色鮮やかに飾り、満足のいく作品を作り上げていました。

みなさん、きっと思い出深い楽しいクリスマスを迎えたことでしょう。



## 各地の又便り



### スキーシーズン到来



【後志署】11月23日（火）、ニセコグランヒラフスキー場で倶知安町観光協会主催で町内のスキー場の合同安全祈願祭が開かれました。

今や国際的になった同スキー場は当日40センチの積雪で、2コースが滑走可能となり、早速国際色豊かなスキーヤー、スノーボーダーたちが元気に初滑りを楽しんでいました。

【根釧西部署】当署では「我が署の四季いろいろ」と題した2008年版の国有林カレンダーを作成し、北海道森林管理局のホームページにおいてダウンロードによる配布を行っています。

カレンダーは、これまでに職員が業務の中で撮影した画像の中からベスト12枚をセレクトし作成しました。

ぜひ、多くの方にダウンロードしてもらい、根釧西部の国有林の四季を楽しんでもらえたらと思っています。

北海道森林管理局ホームページ

<http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/kyoku/>



ダウンロードしてね！  
国有林カレンダー2008

雪と寒さと戦いながらがんばっています！

空知森林管理署  
岩見沢森林事務所 森林官

玉館あゆみ

みなさん、あけましておめでとございます。

私の勤務する岩見沢森林事務所は、管轄区域が三市一町にまたがり、北は美瑛市の防風保安林、南は岩見沢市の利根別自然休養林と管理している森林は変化に富んでおり、また日々の仕事の中でも四十数kmに及ぶ国有林の境界巡検は、やり応えがあります。

米どころ、空知の一翼を担ってきた管内の防風保安林で



元気な子どもたちと冬の森林教室

は、数年前の台風の風倒被害の発生もあり、被害箇所には植栽を行い、将来立派な防風林となるよう管理をしていきたいと考えています。

レクリエーションの場として親しまれている利根別自然休養林（岩見沢市）では、小学生等を対象に、森林教室・コンパス測量・かんじき体験など年間を通して様々なイベントを実施しており、私では気がつかない質問などに、逆に勉強させられる日々です。

また、林内の国有林（退職者の森）では、OBの方達と一緒に下刈り等も毎年実施しています。

月形町には、北限の杉の保護林があります。高年齢に加え、野鼠の被害が見受けられ、保護シート等で対策しているところ。今後も本署と



雪と寒さと戦いながら保育作業



北限のスギ保護林（月形町）

協力しながら、大切に育てていなくてはと思っています。

私の勤務する事務所は一緒に勤務する基幹作業職員が二名と少数ですが、岩見沢地区にある五つの森林事務所と協力しながら業務を履行し、現在は冬季事業の保育間伐を雪



今年もよろしくをお願いします。（中央が森林官）

と寒さと戦いながら、健康と安全に留意し実行しています。これまで本署、現場の皆さんに助けられ、なんとかやってこられました。一般市民のみならず、次代を担う子どもたちにも、国有林の役割・業務を更に理解してもらうために、私自身が様々な場面で対応出来るように、努力していかなくてはと痛感しています。これからもどうぞよろしくをお願いします。

ドングリが伝える交通安全  
手作りカードで事故防止



【空知署】今年度の安全祈願祭にあたり、当署ではこれからの冬道運転での無事故を祈念して、職員手作りのかわいいドングリのマスコットが付いた「交通安全メッセージカード」を全職員に配布しました。

これは、「少しでも交通事故防止のお役に立てれば」と、女性職員が中心となつて作製したものです。

運転をするときは、このメッセージを思い出し、安全運転に努めて欲しいと思っています。（小路 次長）



ドングリカードで冬型事故ゼロへ

# 「ゼロ災月間」の実施 冬季事業 祈願 「ゼロ災」の実現は可能です!!

## 局・署・現場一体で無災害に!

本格的な冬を迎え、寒冷、凍結、積雪等により現場の作業環境が、一段と厳しさを増すことに加え、着ぶくれや寒さにより身体の動きがぶくなることや、年末年始の行事等により、生活のリズムが崩れることなどから、災害発生要因が多くなる時期です。

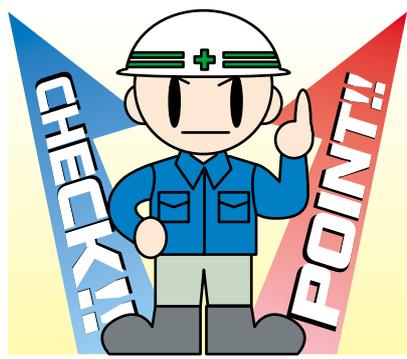
このようないことから、「ゼロ災月間」を一月に設定し、同幹部による安全管理及び安全作業の現場指導を実施すること、並びに同幹部の安全指導等のない署

においては、総括安全管理者等が現場巡視を実施することとしていきます。

平成十九年度の公務災害の発生状況は、既に昨年度の倍以上の件数となっているほか、重大災害に結びつく恐れのあるヒヤリ事故も多発している状況にあります。

更には、これからの時期は路面凍結等により車両の「冬型事故」の発生が懸念されます。また、冬季作業においては、滑り、転倒、転落や雪塊等の落下などの災害発生が懸念されます。

全職員が、危険予知能力を高め、「災害を起こさない、起こさせない」との強い意識の下、自分たちの職場・現場から災害を無くしましょう。



### 冬型交通事故の防止



北海道では交通事故死ワーストワン返上に向け取り組んでいます。

これからは寒さも本格化し、積雪、路面状況等により道路状況はさらに厳しくなり、「スリップ事故」をはじめ「視界不良による事故」「わだちによる事故」等の冬型事故の多発が懸念されます。

冬型事故で最も多いスリップ事故を防ぐためには、常に「路面は滑る」、「対向車がスリップしてくる」と危険を予測することが必要です。このほか「わだちや吹きだまりがある」等路面の状況をしっかりと見ながら走行するとともに、スピードは二割減速するほか、早めに出発するなどして「心と時間にゆとり」を持った運転に努めるよう心がけましょう。

(職員厚生課)

### 冬道安全運転のポイント

滑ることを認識して、夏場感覚を捨てる  
(夏場より制動距離が多く必要)  
路面状態の変化を先取りする(日陰、端、トンネル、岬など)  
交差点へはいつでも減速できる態勢で接近する  
下り坂カーブの手前で必ず減速する  
カーブの見えない先に必ず対向車を想定する

# レクリエーションの森 紹介 富良野スキー場



上空から見た富良野スキー場

【上川南部圏】富良野スキー場は、夕張山地の北部、北海道の「へそ」富良野市に所在し、十勝岳・大雪山連峰の雄大な眺望のもと、良質の雪とバリエーション豊かなコース

ゲレンデの特徴は、大きく二つのゾーンに分かれ、国内最速の「富良野ロープウェイ」(二、三三〇段)が架かり、樹林を楽しみながら滑る「富良野ゾーン」、ワイドなゲレンデが楽しめる、山麓から山頂まで二、九五八段を一気に上る六人乗り「北の峰ゴンドラ」の「北の峰ゾーン」からな

が魅力で、初心者から上級者までスキー&スノーボードが楽しめます。全長四千段を誇る

り、上部でつながっています。

スキー場の営業期間は十一月二十三日～五月六日です(予定)。

夏期は六月初旬～十月中旬まで営業し、新緑から彩り鮮やかな紅葉まで富良野を代表する景色を楽しめます。

また、富良野西岳(一、三三〇段)の登山コースとなっており、一年中楽しめる観光スポットとなっています。(写真提供：富良野スキー場)



## ACCESS

アクセス

### 自家用車

札幌から2時間20分(143Km)  
旭川から1時間25分(60Km)  
帯広から2時間25分(116Km)

### JR

札幌から2時間(滝川乗り替え)  
旭川から1時間  
帯広から2時間30分

### バス

札幌から2時間30分(高速)  
旭川から1時間53分(快速)

## 大きなX'masツリー 子どもたち大喜び



かわいいたキラキラの飾りがたくさん付けられ、クリスマスが終わるまで幼稚園の玄関で園児達を見守っています。今後も子どもたちの思い出に残るプレゼントを続けていきたいと思っています。(杉尾 森林ふれあい係長)

これは九年前から続けているもので、ツリーには子どもたちが作った。

【空知署】十二月六日(木)、岩見沢めぐみ幼稚園に、天井まで届く大きなツリー(アカエゾマツ)をプレゼントしました。



## EVENT INFORMATION

行事・イベント情報

一月四日(金)  
御用始め

一月八日(火)「ゼロ災月間」安全指導

一月二十四日(木)北の国・森林づくり技術交流会 局大会議室

広報「北の森林 国有林」発行 北海道森林管理局  
編集 保全調整課  
☎〇六四 八五三七  
札幌市中央区宮の森 三条七丁目七〇  
I P 電話  
〇五〇 三一六〇 六二七四  
電話  
〇一一 六二二 五三三一  
F A X  
〇一一 六二二 五三三一